

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課		■担当係	都市計画係
■評価事業名称	土地区画整理組合等事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	070400 - 020	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	05 総合的・計画的な土地利用		
	■施策	01 質的向上を目指した土地利用の推進		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	土地区画整理法			
■関連計画の名称	北上市都市計画マスタープラン			
■事業の目的と概要	土地区画整理組合に対し助言及び県への進達事務等を支援既存土地区画整理事業の照会・相談事務			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	土地区画整理組合に関する事務	土地区画整理事業内	事業無し	大曲地区土地区画整理事業における公図修正検討
02	土地区画整理組合に関する事務	既存土地区画整理事業の照会・相談事務	約30件窓口対応	約30件窓口対応

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	171	513	176	4	
人件費	2,290	223	1,201	305	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,461	736	1,377	309	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	組合との協議	清算法人清算人会2回、清算総代会1回				組合との協議(理事会等含む)役員協議会、理事会の回数

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

県等への協議	2回				事業計画の変更及び事業収束における岩手県協議
既存土地区画整理事業の照会・相談		24回	24回	24回	窓口において、既存土地区画整理事業の紹介に対応した回数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

既存土地区画整理事業の照会・相談事務をこなしている。

問題点・課題等

古い区画整理事業の資料確認が困難な状況となっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

既存土地区画整理区域内における新たな民間売買が発生した都度、土地の境界面定資料を求められており、今後も一定程度のニーズが発生する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了